

橋本 功議員



Q 学校教育、社会教育の振興施策・奨学金貸付制度の活用方策は

A 出来る限り支援したい

適正配置は、子どもたちのより良い学習環境や生活環境、人間関係構築の面から、望ましい学校を指さなければいけません。

学校教育と社会教育振興施策の方針は、また、近年教育の向上が高まる中、我が村の奨学金制度は。

学校教育で、通常の業務であれば、その規模に応じた先生を配置

また、近年教育の向上が高まる中、我が村の奨学金制度は。

また、近年教育の向上が高まる中、我が村の奨学金制度は。

教育長

学校教育で、通常の業務であれば、その規模に応じた先生を配置

し、学校運営はできる障がいを持つ子供の教育指導体制は特別支援学級で行っている。県から職員を派遣していただき、ただいま小中学生で10名8クラス。中学生で6



立野駅から国道57号線間の道路

見を聞き助成をしている。対象者、小学校24件、中学校31件、延べ生徒100名が対象となった。今後村も出来る限りのことはしなければならぬ。

社会教育いろんな諸団体の活動費に対しての助成をしている、特別な大会等に対しても精一杯の努力をし、助成を行っている。

公民館活動についても社会教育

名の方が利用されている。この制度は、高校や大学等に進学する場合に、金融機関より保護者が教育資金として借り受けた場合に、その利子について年額5万円を限度に支給する。今後とも広報等により周知を図る。

他の質問事項・立野駅無人化対策と駅間の道路整備について

橋本議員

学校教育は、将来にわたる教育の礎となる。次代の南阿蘇村を担う子どもたちを育むよう、幼稚園から大学までの学校教育、地域の課題に取り組み社会教育の融合が展開されている。小中学校の適正規模、



贈呈されたランドセルに喜ぶ新一年生

名3クラス指導に当たって

普通教科の授業時間も増やし、その結果、全国学力学習状況調査の結果は全国、県平均を上回っている状況にある。

先生方を10名雇っている。その結果、特に英語力の向上が見られる。

普通教科の授業時間も増やし、その結果、全国学力学習状況調査の結果は全国、県平均を上回っている状況にある。

事務局長

奨学金の貸付制度の活用、村の教育資金利子補給金交付条例により、人材の育成に努めており、18



無人駅になった立野駅